

中小企業ぎふ

Vol.679

2022年7月25日 隔月25日発行

岐阜県中小企業団体中央会

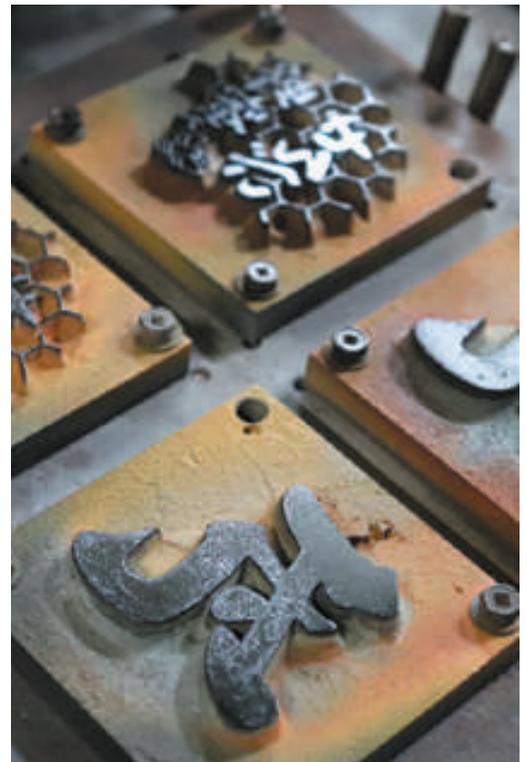
岐阜市数田南5丁目14番53号
OKBふれあい会館9階

☎ 058-277-1100

HP <http://www.chuokai-gifu.or.jp>

連携の力で無限の可能性にチャレンジ!

中央会は、「ウイズ・コロナ時代」の組合・中小企業の挑戦を応援します



組合紹介 2~3

泉陶磁器工業協同組合

クローズアップ企業 4~5

八百津煎餅協同組合 組合員
「株式会社日の丸製菓」

専門家コラム

「今をどう見る~生き残りツールとしての情報」 6~7

中央会の活動 8~14

- ・ 通常総会を開催、新役員等の紹介
- ・ <特集>新会長インタビュー
- ・ 各団体の活動報告
- ・ インボイス制度対策セミナーを開催
- ・ キッズ向け組合まつり まもなく開幕
- ・ 小規模事業者連携促進事業 始動

組合等の活動 14~15

- ・ 岐阜県菓子(工組)
岐阜おやつ編集室がTHE GIFTS SHOPとコラボイベントを実施
- ・ 岐阜電気工事(協) “新”電気会館を建設
- ・ 多治見市管工事(協) 応急手当推奨事業所に認定
- ・ 飛騨印刷(協) 高山市と共同で終活ノートを作成

全国の先進組合事例 16

- ・ (協)岐阜関刃物会館

景況レポート 17

インフォメーション 18

- ・ 全国大会のお知らせ
- ・ DX相談窓口通信

暑中見舞広告 19~22

組合 紹介

こんな活動をしています！

本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動を続けていますので、皆様の仲間を紹介します。



泉陶磁器工業協同組合

- 理事長 山田 寛久
- 組合員数 24名
- 設立年月 1947年4月
- 住所 土岐市泉町定林寺275番地
- TEL 0572-55-2135

青年部が組合活性化

◆組合の歴史・活動

■茶器の量産化で発展



山田理事長

当組合は、昭和22年4月に設立され、組合員76名でスタートしました。組合員数の最盛期は昭和49年～50年の111名で、現在は24名となっています。

泉町は土岐市の北部に位置し、一級河川土岐川以北にあり、久尻、大富、定林寺、河合地区で形成されています。組合事務所は定林寺地区にあり、組合員の半数以上も定林寺地区に在住しています。家族経営の事業者が多く、多品種少量生産で小回りがきく事業所が集積していることが、この地域の特徴の一つです。

今では、各社さまざまな器を製造しますが、昔は、駄知町ではどんぶり、下石町では徳利、肥田では皿といったように、土岐市内で地域ごとに技術が細分化されていました。ここ泉はというと、定林寺番煎茶碗と云われたほど、煎茶碗、湯呑が多く生産されていました。

当組合では陶芸用の筆や釉抜き剤の共同購買事業の他、販路開拓事業として展示会への出展、共同集金事業等を実施しています。また、青年部を組織しており、さまざまな事業を企画して活発に活動しています。

■組合事業と事務局の再スタート

最盛期と比較して組合員数が減ったため、取扱量は多くありませんが共同購買事業として、陶芸用の筆や釉抜き剤等を購入しており、配達まで行っています。

以前は、生地工場を保有し、生地を製造し、組合員に提供していました。当時は、各組合員が同じ種類の製品

を作っていましたので、統一の生地にニーズがありました。また、共同製土工場を保有し、採掘した陶土を組合員や陶芸家らに販売していました。五斗蒔陶土というブランド名で親しまれていましたが、原料枯渇問題等があり、10年程前に閉山となっています。

組合は、平成31年1月に隣地民家の出火で組合事務所が全焼してしまいました。その後、検討の結果、建て替えを実施し、令和2年12月に新事務所が完成し、新たな拠点として再スタートしています。



事務所の外観

■販路開拓への支援

販促活動は、組合員であるメーカーにとって重要であるため、継続して展示会に出展しています。

過去には、東京や名古屋の展示会に共同出展していましたが、現在、継続して出展しているのは、土岐市内で8月に開催される「美濃焼ニューコレクション」と1月に開催される「新春見本市」です。

両展示会は、土岐市内の6組合が加盟する土岐市陶磁器工業協同組合連絡協議会主催の展示会です。

両展示会には、新作の求評をいただくためであったり、新規受注を得るためであったりと、各組合員が目的をもって参加しています。

■一大イベントである定林寺まつり

美濃焼を身近に感じていただくイベントとして、定林寺まつりを開催しています。

定林寺まつりは、多くの窯元が軒を連ねる定林寺地区一帯を会場に、窯元巡りや蔵出し市、地元の方による各種バザーが楽しめるイベントです。毎年5月のGW期間に開催しており、今年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、3



作陶指導の様子

年ぶり20回目の開催となりました。来場者5,000人を超える一大イベントです。普段公開していない作業場内や、作陶の様子を見学できることが魅力の一つです。

また、組合員が講師となり、地元小学生に作陶指導を実施しています。陶製のランプシェードづくりを通して、

生徒が地元産業に触れる機会を提供しています。

■活発な青年部活動

新型コロナウイルス感染症の影響により、「美濃焼ニューコレクション」が2年連続で中止となった際には、青年部が自主企画により「ニューコレクション泉」を開催しました。各地で展示会が中止になっている中、何もしなければ2年連続で商談の機会を失い、大きな打撃を受けるところでした。

また、小学生の作陶指導も青年部の発案です。元々は青年部員が講師を務めていましたが、今では組合事業に格上げし、全組合員から有志を募って実施しています。

ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で、予定通りにイベントが実施できないことが多々ありますが、何かが



ニューコレクション泉

中止になれば、代わりの何かを企画するなど、青年部は活発に活動しており、非常に頼もしい存在です。組合の将来を担う存在として大変期待しています。

◆組合が目指す方向性とは

■新たにロゴマークを作成

2050年の脱炭素社会の実現のため、当組合と組合員は土岐市の「脱炭素美濃焼SDGsプロジェクト」に参加しています。

陶器は焼成しますので、二酸化炭素をなくすことはできませんが、焼成温度の見直しや燃料削減により、少しでも排出量を減らすことは可能です。技術的な問題は、土岐市立陶磁器試験場のサポートも受けながら、排出量削減に取り組んでいきます。

また、引き続き青年部に期待するところは大きく、親会が苦手とする情報発信等を担当し、まつり等のイベントを盛り上げていってほしいと考えています。

最後に、今年4月に当組合のロゴマークを作成しました（前頁理事長顔写真参照）。ロゴマークは、古くから泉地区が得意とする湯呑をあしらったデザインです。展示会出展時やイベント開催時に積極的に使用して、泉地区を盛り上げていきます。

今後は、より一層、青年部や若手経営者の意見や新しい取り組みを取り入れ、地域に根付いた焼き物として、今後も発展できるようブランド力で高めていき、業界の発展のための活動を積極的に行っていきます。

業界豆知識

定林寺まつり -窯元めぐり-

定林寺地区は陶磁器の産地であり、多くの作家・窯元があり、機械に頼らず、自分の気に入った器を作っています。

「定林寺まつり 窯元巡り」は、毎年5月のGW期間に開催され、窯元巡りや蔵出し市、地元の方による各種バザーが楽しめるイベントです。

普段目にすることができない作業場や窯を見学でき、いつも何気なく使っている器がどのように作られているかを実際に見ることや、窯元の職人から焼き物の製作にける想いや工夫を直接聞くことができます。また、窯焼きのパチパチという音や熱気も肌で感じる事ができ、見て、聞いて、触って、焼き物の魅力を感じることができます。



作業場を開放して器を販売



陶芸窯

クローズアップ企業

八百津煎餅協同組合 株式会社日の丸製菓

《企業概要》

所在地：加茂郡八百津町八百津8342-2 電話：0574-43-1017

代表：代表取締役 稲垣 伸作

主な事業：八百津煎餅の製造・販売



本社外観

伝統を守りながら新しいことに挑戦

◎ 御社のこれまでの沿革についてご紹介ください。

◆創業67年 「八百津のおやつ」として 八百津せんべいを作り続ける



稲垣社長

元々、亜炭鉱で働いていた先代・稲垣栄一が、昭和29年に八百津町でせんべいの製造を始めたのが当社の起源です。手焼きで製造可能なせんべいは、特殊な道具は必要なく、創

業当時は六畳一間でせんべい屋を始める事業者が多くいました。当時は八百津だけでも150～160店舗存在し、「八百津せんべい」が一躍盛んになったのもちょうどこの頃でした。

私は、創業当時の小学生の頃から手伝い等をしながら携わっており、15年程前から社長を務めています。

創業当時は、全て手焼きで製造し、約50年前に初めて全自動の機械を導入しました。その機械は大切にメンテナンスをしながら今でも使用しています。時代とともに少しずつ変化はありますが、今もなお、「八百津発祥のおやつ」として八百津せんべいを作り続けています。

◎ 御社の特徴や方針を教えてください。

◆理念は「とにかく美味しいものを作る」

創業者の理念は、「とにかく美味しいものを作れ」とのことです。そのためには「とにかく食べる」と何度も言われました。

創業者の理念は今でも受け継がれており、毎日の焼きはじめは必ず、自分で食べるようにしています。毎朝、起きてすぐ工場に行き、試し焼きをするのが私の日課となっています。生地分量は同じでも、その日の温度、湿度によって仕上が

りは微妙に変化しますので、その変化を自分の舌で確かめ、常に変わらぬ美味しさを届けています。

八百津せんべいは、主原料が小麦粉・砂糖・卵とシンプルなのに、原材料にはこだわっています。小麦粉は岐阜県産を含めて、8種類を商品によって使い分けています。醤油やハチミツは八百津町産を使用することもあり、商品によっては、ほとんど岐阜県産の原材料を使用して作るものもあります。



焼き印を押す稲垣社長

◆温故知新の精神

常日頃から、新しい商品への探求心を持っています。歴史ある八百津せんべいには、変えてはいけない味と心があります。それを受け継ぎながら、現代のお客様のニーズにあった商品開発を行っています。

当社はPBやOEMの商品開発を得意としており、日々お客様からの商品開発の依頼に答え続けています。オリジナル焼き印入りせんべい以外にも、「ドッグフードせんべい」や「金沢の金箔入りせんべい」等、さまざまなご依頼をいただいています。さまざまなご希望を形にすることに、苦労はありますが、情熱を持って取り組んでいます。

また、PBやOEMの経験は、自社製品の開発にも役立っています。さまざまなご希望を形にしてきた経験を活かし、日々の生活の中でのひらめきやアイデアを形にしては、問屋に売り込んだり、イベント出展時に販売しています。

◆積極的な情報発信

最近では、情報発信に力を入れています。HPをリニューアルした他、今年4月よりInstagramのアカウントを開設しました。(Instagramアカウント:hinomarusenbei)

Instagramでは、イベント出展や製造工程の紹介等を行い、毎日投稿を続けています。情報発信を通じて、八百津せんべいの名前しか知らない方に、八百津せんべいの魅力を

伝えることができたらと考えています。

Instagramは、ユーザー同士で直接メッセージのやり取りが可能であり、消費者との距離が近いことが特徴です。実際に、直接メッセージをいただき、商品開発の参考にすることもあります。ご要望をくださった消費者に、ご要望を反映した商品を製作したことを伝えたと、大変喜んでいただけ、「次のイベント出展の際に絶対買いに行く」とおっしゃっていただけるような、うれしいメッセージのやり取りもあります。

◆「NO WAR 人道のまち やおつ」

当社が位置する八百津町は、かつて多くのユダヤ人難民を救った杉原千畝氏の生誕の地として知られています。昨今のロシアのウクライナ侵攻を受けて、過去の大戦中に多くの難民の命を救った杉原千畝氏の遺志を継ぎ、平和の願いを込めた「NO WAR 人道のまち やおつ」焼印入りのせんべいを製作しました。

本製品は、販売ではなく、当社の直売店や各種イベントの来訪者等や、地元の金融機関と連携して、募金をされた方に無料配布しております。

一刻も早く、世界に平和が訪れて欲しい。それがこの製



「NO WAR 人道のまち やおつ」焼印入りせんべい

品に込めた当社の想いです。手に取った方が、少しでも世界平和について考えるきっかけになればと考えています。

◎組合に期待すること

◆業界PRと組合活性化

当組合では、共同販売事業を実施しており、組合の販売所にて組合員の商品を展示販売しています。八百津せんべいと一口に言っても、それぞれ特徴があり、各組合員

の工夫を凝らした商品が同時に楽しめます。

また、イベントに共同出展し、八百津せんべいのPRを行っています。コロナ禍で実施できていませんでしたが、約3年ぶりのイベント出展が決まり、今から待ち遠しく思っています。

最盛期は170を超える工場がありましたが、後継者不足や流通販路の減少等により、今では、10数社と縮小を続けています。八百津せんべいの文化を残していくためにも、後継者同士の交流の場を設け、組合を活性化してほしいと考えています。

◎最後に御社の今後の展望、抱負をお聞かせください。

◆「八百津せんべい」の永続

目下の課題は、原材料や燃料の高騰です。その対応には苦慮していますが、お客様が用途に合わせて持ち運べるように、ジップ付き包装の商品を展開する等の工夫をしています。

PBやOEMでのお客様からの希望や、自分自身の日々のひらめきを形にすることは非常に面白みがあります。今後も楽しみながら企画し、Instagram等で皆様と共有できたらと考えています。

当社は、「とにかく美味しいものを作る」の理念を基に、日々美味しいものを作り続けています。八百津の象徴である「八百津せんべい」を今後も永続していくことを使命に、今後も頑張っ



焼きあがった八百津せんべい

【組合概要】 八百津煎餅協同組合

代表理事 稲垣 伸作（株式会社日の丸製菓）

加茂郡八百津町八百津3743番地の3

組合員数：18名

主な事業：共同販売事業 等

共同販売所 営業時間 / 13:00~17:00

定休日 / 日・水・臨時休業あり

※組合員企業の掲載希望がございましたら、企画振興課までお知らせください。

今をどう見る～生き残りツールとしての情報

このコーナーでは、神戸国際大学経済学部 中村智彦教授より折々に感じておられる組合・中小企業向けの有益な情報についてご執筆いただきます。組合運営、企業経営にお役立てください。

大切なのは柔軟な思考と豊かな想像力 ～ポストコロナの新たな消費に、どうつなげるか～

・男性同士でテーマパーク

東京ディズニーランドやユニバーサルスタジオジャパンなどは、ある年齢以上の男性たちにとっては、「異性を誘っていくデートの場」という捉え方が多いのではないだろうか。

ところが、この二十年ほどでその発想は大きく変化しているようだ。大学生たちや若い会社員たちと話していると、「男性同士でテーマパークに行く」や「温泉旅行に出かける」と言ったことに特に違和感を感じていないことがわかる。むしろ「女性と一緒にじゃない方が、気を遣わなくてもよい」、「仲間だけでゆっくり過ごしたい」といった意見を聞くことが多い。

ある大手飲食チェーン店の幹部と話した時に、「確かに最近、女性デーとか、女性割引などを行うと、なぜ女性だけなのかというクレームをいただくことがあります」と話していた。また、あるホテル経営者は、「レストランのサラダバイキングのコースなどは、女性をターゲットにしていたのですが、若い男性からの注文も多く、女性向けという考えを改めたところですよ」と言う。

・「肉がっつり」は男性向け?

逆に私が関係しているある自治体の女性職員たちが、「ご当地名物の弁当を作るのでアイデアをというので、がっつり肉をテーマに出したら、中年男性のコンサルが鼻で笑って、女子は肉なんて食わないでしょうと言われた。何もわかっていないのは、あの時代遅れのコンサルだ」と憤慨していたことがありました。大手飲食チェーン店の幹部にこの話をしたら、「私たちの店では、肉に反応するのは、若い女性客だというのが、今や常識ですよ」と笑っていた。

2015年、JR東日本の北海道新幹線函館開業のCMが、話題になったことがあった。そのCMでは、人気漫才コンビのサンドウィッチマンの二人が登場するのですが、「ゲイではないのか」、「気持ち悪い」などという中傷する意見がネットで拡散されたのだ。しかし、若い世代からは、むしろ好意的に受け止められ、そうした批判はすぐに静まった。

「男性同士で、テーマパークに行くなんて考えられない」、「いい年の男が二人で温泉旅行なんて」という意見は、若い世代から見れば、不思議だし、そちらの方が気持ち悪いことのようにだ。

・飲食店の現場では

30歳代の飲食店経営者は、「ある程度の傾向というのはあるにしても、世代とか、性別などで何かを決めつけられるのを嫌がる人たちは確実に増えていると思います」と言う。「例えば、どうでしょう。これまではお酒を飲めない男性が、居酒屋やレストランで食事をとるとというのは、少し肩身が狭いような感じがあった。ところが、テレビで孤独のグルメが放送され、一躍人気になると、中高年の男性たちが、主人公の井之頭五郎を気取って、一人

で店に行くのが、むしろ流行りましたよね」と言う。「飲食店の中から見ても、男性同士で昼間のカフェ時間帯にスイーツを楽しみに来てくださる方も多くなっているし、逆に夜に女性同士で日本酒が好きだからと来る方たちも多い。若いから、年配だから、男性だから、女性だからとこだわっていると、大切な客を逃してしまふ。」

マーケティングを行う際に、気を付けなければならないのは、「思い込み」をいかに排除するかである。「私の若いころには、そんなことをする人はいなかった。だから、今もそんな人はいない」だとか、「私の周りに、そんなことをする人はいない。だから、そんなことを望む顧客はいない」というような発想は、一見、正しそうだが、全く根拠のない思い込みにしか過ぎないのである。

あるアパレル系企業の方と、学生の就職活動について意見を交換していた時に、次のようなことを言われた。「面接などで、自分が好きなアパレルブランドの話を一生懸命する学生。そして、それ以外、つまり異なった性別や世代の人たちのファッションには興味がない学生は、採用しない。特定のブランド、特定の顧客向けの商品だけが好きなならば、売る方に回らず、その商品のファンでいればいい。こちらは、商売として、様々な顧客が、なにを求めているのかを、想像しながら、調べながら製品を作っていくかねばならないからです。大抵の場合、うちに来たら、あなたが好きな服ではなくて、例えば、高齢者向けのファッションを担当しなくては行けないかもよ、というところがっかりした顔になります。そういう人は採用しない。」

何事も自分中心でしか考えられず、ほかの人のことを想像できない人材は、マーケティングの現場では必要ないという厳しい意見である。

・「応援消費」で見る20代の意外さ

東日本大震災以降に認知が広まった「応援消費」は、地域やそこで働く事業者の応援、支援を目的としてモノやサービスを購入する新しい消費スタイルとして注目されている。さて、この「応援消費」に敏感に反応しているのは、どういった人た



(図表1)

ちだろうか。旅行予約サービス「楽天トラベル」(楽天グループ株式会社)が、2022年7月14日に発表した「旅行分野における「応援消費」の実態と意識に関する調査」(図表1)によると、アンケートに回答した約1000人のうち3割の人が、旅行を通じた「応援消費」を行ったことがあると回答し、5割超の人が、将来的に旅行を通じて「応援消費」を行いたいと考えているとしている。また、経験者の9割以上が、旅行を通じた「応援消費」をまた行いたいと考えているとしている。

この中で興味深いのは、旅行を通じた「応援消費」の経験者は、20代男性の経験率が最多で43.6%と突出して多くなっている。ところが最も経験率が低いのが、20代女性の21.7%と、同じ世代でも大きな差が出ている。

「旅行を通じた「応援消費」の今後の実施意向」(図表2)については、「行いたい」と回答した人は全体では55.4%、ここでは、40代女性の意向が64.8%と最も高く、次いで20代の意向が62.4%となっている。



(図表2)

総じて、20代男性の「応援消費」への関心は高く、また実際に実行していることが判る。

コロナ禍以降の地域の観光産業の再興を企画していると仮定した場合、この調査報告は非常に興味深いのではないだろうか。

これまで、観光客誘致の場合、その主要なターゲットの一つとして、若い世代の女性たちが挙げられることが多かったように思う。その証拠としては、各地の観光ポスターを見ると、若い女性たちがにっこりとほほ笑んでいるものが多いことが挙げられる。

さらに、近年では、高齢者層も重要なターゲットとして認識されてきた。この楽天トラベルの調査を見ても、確かに60歳代以上の関心も低くはない。

しかし、いずれにしても20代男性に関しては、これまでそんなに重要視されてこなかったのではないだろうか。同様に今後の旅行の実施意向については、40代女性が高い割合を

示している。「40代など、子育てが終わるか終わらないくらいだし、現役で働いている人も多いから、応援消費など関心がないはず」などと考えてしまう人も多いのではないだろうか。

・Z世代が注目される理由

最近、流行語のように使われているZ世代という言葉がある。おおむね現在10代後半から30代の人たちのことを指し、この世代はもの心ついた時からIT化やデジタル化が進んだ環境で育っていて、環境問題や働き方改革などに関心が高いとされている。自分や家族、友人たちとの時間を大事に考えると同時に、環境問題や社会問題、政治問題などにも関心を持つ人が多いとされる。欧米とは異なり、日本でこの世代のことがあまり話題にならないのは、単純にほかの世代に比較して人数が少ないからだと言われる。ただ、少ないとはいえ、次世代の消費をけん引する人たちであり、その動向は注目されているのである。

観光関係だけではなく、商店街での集客や、あるいは自社の社員募集に関しても、「思い込み」だけでなにかを行っても、本来の顧客には届いていないことが多い。

最後に、この楽天トラベルの調査で、「旅行を通じた「応援消費」の経験者に、地域や事業者が応援や支援を必要としていることをどこから知ったのか」(図表3)という回答も見ておこう。



(図表3)

もっとも関心の高い20代男性の回答で、最も多い63.6%は「支援を必要としている自治体や宿泊施設などから直接、情報発信を受けて」なのである。SNS全盛だと思われる中で、意外なことに20代男性が心を動かされているのは、当事者から直接、送られてくる情報なのだ。

・柔軟な思考と豊かな想像力

今回は、楽天トラベルの発表した調査結果から、コロナ禍の復興につなげていくために必要なものを考えてきた。

「思い込み」を排するという事は、要するに「柔軟な思考」を持つことと、「豊かな想像力」を培っておくことの二つに尽きるのだ。



中村 智彦
(なかむら ともひこ)

【ホームページ】 <http://monodukuri.jp/>

【常勤】 神戸国際大学経済学部 教授

【非常勤】 関西大学商学部 非常勤講師・愛知工科大学工学部 非常勤講師

【専門】 中小企業論・地域経済論

【略歴】 昭和39年 東京都生まれ

昭和63年 上智大学文学部卒業

平成12年 名古屋大学大学院国際開発研究科博士課程修了 (学術博士・名古屋大学)

【活動】 総務省地域創造力アドバイザー・京都府向日市ふるさと創生計画委員会座長

東京都北区ネスト赤羽支援機能拡充検討委員会座長・山形県川西町第5次総合計画アドバイザー

ヤフー!ニュース <https://news.yahoo.co.jp/byline/nakamuratomohiko>

中央会「第67回通常総会」を開催

◎新会長に傍島茂夫氏（岐阜県可児工業団地(協)・理事長）が就任

中央会は、「第67回通常総会」を6月20日に岐阜グランドホテルで開催した。総会には、中部経済産業局の伊藤周広産業部長をはじめ、多数の来賓と会員ら合わせて約100人が出席した。

開会にあたり、今井会長は「サプライチェーンの混乱や原油高、資源高、原料高、人件費の高騰等が急速に進んでいる。中小企業では、このようなコストの上昇を価格転嫁ですべてを賄うことができず、非常に厳しい状況である。中央会では、国・県に、中小企業の現状を伝え、さまざまな要望・提言し、各種支援をお願いしている。行政からは雇用調整助成金の延長や金融支援など、様々な支援をしていただいているところであり、このような支援とともに、一日も早い経済の再生を望みたい」とあいさつした。

次いで、来賓を代表して中部経済産業局の伊藤周広産業部長、岐阜県の崎浦良典商工労働部長、全国中小企業団体中央会の森洋会長から祝辞が述べられ、引き続き議案の審議を行った。

議事では今井会長が議長を務め、令和3年度事業報告書及び収支決算書等の各決算関係議案をはじめ、令和4年度事業計画案及び収支予算案などについて審議し、いずれも原案どおり承認された。また、任期満了に伴う役員改選を行い、新たに傍島副会長が会長に就任した。新役員並びに名誉会長・顧問・相談役・参与は次頁のとおり。

傍島新会長は就任あいさつで「中小企業と大企業との格差が段々広がっている。日本経済を支える中小企業の支援に尽くしていく」と抱負を述べた。

続いて、2期4年にわたり会長を務められた今井前会長と、14期28年副会長を務められた関前副会長に対して、傍島会長より感謝状が授与された。

総会後には、来賓と会員ら約70名が参加して、3年ぶりに懇親会を開催し、相互の親睦を図った。



通常総会で議案審議



感謝状授与

左から傍島会長、今井前会長、関前副会長

～来賓祝辞の要旨～

—総会—

【中部経済産業局 産業部長 伊藤周広 氏】

国では、コロナ禍の資金繰り対策支援として、いわゆるゼロゼロ融資を9月まで延長する他、新事業展開等を行う事業者に対しては、事業再構築補助金を引き続き実施するとともに、緊急経済対策の一環として、燃料油価格の激変緩和措置事業等に取り組んでいく。中部経済産業局としても、これら施策を着実に地域へ展開していくとともに、厳しい事業環境下に置かれ、幾多の課題を抱える中小企業の経営力の強化に向けた支援活動を続けていく。

【岐阜県 商工労働部長 崎浦良典 氏】

ウィズコロナ、アフターコロナに向けて、中小企業の皆様の活躍を期待しているが、原油高、原材料高、円安という、皆様の企業活動にとってマイナスとなる要素が複合的に発生している。県としては、6月議会で緊急対策として経済対策を盛り込んだ補正予算を計上している。今後も皆様方と意見交換をしながら新たな経済対策を考えていく。

【全国中小企業団体中央会 会長 森 洋 氏】

中小・小規模事業者が事業復活支援金や資金繰り対策、雇用調整助成金など、政府等の支援策により何とか持ちこたえているものの、先は見通せず、新分野展開や業態転換等に踏み切れず、休業・廃業へ向かう事業者が少なくないことを危惧している。11月には、「中小企業団体全国大会」を長崎県で開催する。大会で、日本経済全体のコロナ禍からの回復と物価や原油価格の高騰や円安による原材料、エネルギー価格の高騰の中で価格転嫁促進等に苦しむ中小・小規模事業者の声を政府関係機関に届けるため、要望を取りまとめていく。

—懇親会—

【岐阜県議会 議長 平岩正光 氏】

労働生産人口の減少や求職者の大企業志向の高まり、県外への人材流出により、県内中小企業にとっては依然として人手不足が慢性化している現象が続いている。さらには後継者不在による事業継承問題など、事業経営に携わる皆様方のご苦労は並々ならぬものであると感じている。岐阜県議会としても、オール岐阜で、ウィズコロナ対策に全力を尽くすとともに、いよいよアフターコロナに向かって未来を創っていく。そして岐阜県民の、岐阜県の強みをしっかり磨き上げながら、全力で経済を支える皆様方とともに努力していく。

【岐阜県中小企業団体中央会 名誉会長 辻 正 氏】

私が会長を務めていた時にも傍島副会長には支えていただき、今日、傍島新会長が誕生したことをうれしく思う。今井前会長が退任され、ホッとされているのか、寂しいのかわからないが、私も22年会長を務めたため、寂しい気持ちが本当だと思う。私は皆様方いつもお目にかかることができたあの頃を懐かしく思っている。今は、100歳が当たり前の世の中になっているので、どうか皆様方が元気に活躍されることをお祈りする。

～ 中央会の新役員並びに名誉会長・顧問・相談役・参与のご紹介 ～

〈新役員一覧〉

令和4年6月20日改選(敬称略)

役名	氏名	所属団体
会長	傍島 茂夫	岐阜県可児工業団地協同組合
副会長	松原 朝男	岐阜県陶磁器工業協同組合連合会
	井上 良介	川崎岐阜協同組合
	丹羽 龍	岐阜県鋳物工業協同組合
	白川 勝規	協同組合飛騨木工連合会
	高橋 伸治	岐阜流通センター協同組合連合会
	吉田 芳治	岐阜県銘木協同組合
専務理事	川本 敏	本会専従
理事	青木 一郎	岐阜県鐵構工業協同組合
	浅野宏治郎	岐阜県毛織工業協同組合
	荒川 晶一	岐阜県管設備工業協同組合
	安藤 浩市	土岐市陶磁器卸商業協同組合
	井上 豊秋	岐阜県砂利協同組合
	宇佐見 潤	岐阜県眼鏡商業協同組合
	大久保為芳	岐阜県異業種グループ交流推進協議会
	大洞 正和	岐阜県印刷工業組合
	大山 龍彦	高山建設業協同組合
	尾関 郁夫	岐阜県製麺協同組合
	笠井 政志	多治見美濃焼卸センター協同組合
	加藤 晃一	下石陶磁器工業協同組合
	加藤 誠二	岐阜県窯業原料協同組合
	加藤 丈詞	岐阜県金型工業組合
	加藤 東衛	協同組合土岐美濃焼卸センター
	亀井 高利	関金属工業協同組合
	雁部 繁夫	岐阜県生コンクリート工業組合
	倉林 雅人	高山管設備工業協同組合
	栗本 森義	岐阜県米菓工業協同組合
	後藤 佳政	岐阜県砕石工業組合
	近藤 潤	岐阜県広告美術業協同組合
	齋木 正一	肥田陶磁器工業協同組合
	澤田 誠	岐阜県菓子工業組合

役名	氏名	所属団体
理事	島 秀太郎	益田建設業協同組合
	正村洋一郎	岐阜県木材協同組合連合会
	杉江 拓郎	岐阜県柔道整復師協同組合
	鈴木 純一	岐阜県金属工業団地協同組合
	高橋 淳	岐阜県中小企業組合士協会
	瀧 多賀男	下呂温泉旅館協同組合
	竹腰 大介	岐阜県高圧ガス協同組合
	田澤 太郎	岐阜県電設資材卸業協同組合
	田中 彰	協同組合岐阜関刃物会館
	田中 肇	岐阜県プラスチック工業組合
	谷田 育子	岐阜県中小企業団体中央会レディースクラブ
	友松 幹雄	サムソンプューティチェーン協同組合
	中島 善二	岐阜県酒造協同組合連合会
	早田辰比呂	岐阜県タイル商業協同組合連合会
	日比野 豊	岐阜県商店街振興組合連合会
	平嶋 千里	岐阜県既製服縫製工業組合
	廣瀬 和秀	物流ネットワーク中部協同組合
	廣瀬 昇	美濃織物工業協同組合
	古田 聡	岐阜県中小企業青年中央会
	堀 克己	岐阜県火災共済協同組合
	松尾 真吾	岐阜生花市場協同組合
	松野 守男	岐阜土木協同組合
	村井 繁喜	飛騨高山旅館ホテル協同組合
	村上 正雄	岐阜県板金工業組合
森 輝廣	岐阜県電気工事業工業組合	
森嶋 篤男	岐阜商工信用組合	
山岡 利安	岐阜市旅館ホテル協同組合	
横山 隆仁	岐阜県中古自動車販売商工組合	
監事	今井 桂一	岐阜県製本紙工工業組合
	瀬上 達弥	岐阜県電器商業組合
	高橋 勤	西濃電気工事協同組合

〈名誉会長・顧問・相談役・参与〉

(順不同・敬称略)

役名	氏名	所属団体等
名誉会長	辻 正	岐阜県中小企業団体中央会 前会長
顧問	今井 哲夫	岐阜県中小企業団体中央会 前会長
	加藤 智子	岐阜県中小企業団体中央会 前副会長
	関 道朗	岐阜県中小企業団体中央会 前副会長
相談役	川島 誠之	岐阜県繊維協会 会長
	武藤 昭成	一般社団法人岐阜ファッション産業連合会 理事長
	長瀬 幸泰	岐阜県機械金属協会 会長
	北野 茂樹	岐阜県食品産業協議会 会長
参与	一ノ瀬 浩道	株式会社商工組合中央金庫岐阜支店 支店長
	石原 佳洋	岐阜県信用保証協会 理事長

この度、6月20日に開催しました第67回通常総会において、岐阜県中小企業団体中央会の会長に、傍島茂夫氏が就任されました。

そこで、傍島新会長に、中央会会長としての抱負から、所属企業や組合について、休日のすごし方まで、様々なお話を伺いました。



そばしま
傍島 茂夫
岐阜県中小企業団体中央会 会長

- ・岐阜県可児工業団地協同組合 理事長
- ・鳥羽工研株式会社 代表取締役会長
- ・協同組合岐阜県可児工業団地管理センター 理事長
- ・鳥羽工業株式会社 代表取締役会長

〈団体歴〉	昭和63年 5月	岐阜県可児工業団地協同組合	理事
	平成15年 5月	同	副理事長
	26年 5月	同	理事長
	平成 元年 5月	協同組合岐阜県可児工業団地管理センター	理事
	15年 5月	同	副理事長
	26年 5月	同	理事長
	平成26年 6月	岐阜県中小企業団体中央会	常任理事
	27年 6月	同	副会長
	令和 4年 6月	同	会長

「会長としての抱負をお聞かせください」

中小企業とその従業員の地位向上に取り組みたいと考えています。

日本を支えているのは中小企業であり、特に、岐阜県内の中小企業の割合は、全国平均よりも高く、全国の99.7%に対して、岐阜県は99.9%が中小企業です。中小企業で働いている人は、86%で、これも全国より大きく上回っています。

しかし、今、中小企業と大企業の格差がだんだんと広がってきており、求職者が中小企業の方を向いていない状況が続いています。格差拡大の要因は、商売がドライになり、大企業との商取引において、中小企業に目に見えないしわ寄せがきていることにあると考えています。

そんな今だからこそ、「売手よし、買手よし、世間よし」の三方よしの商売の精神を見つめ直す必要があると考えています。また、SDGs時代の理念として、藻谷ゆかり氏著の『六方よし経営』にあるように、三方よしの精神に「作り手よし、地球よし、未来よし」を加えた考え方が必要になると考えます。

一つ一つ、コツコツと目の前の問題を解決しながら、日本経済を支えている中小企業の支援に力を尽くして参ります。

◆中央会に求められる役割とは

団体組織として、提言機関の役割があると思います。中央会は全国大会等を通じて要望事項を提言するなど、中小企業の意見を取りまとめる役割を果たしています。私自身も、「型取引の適正化※」について声を上げ続け、希望がかなえられた経験があります。提言機関として皆様のご意見を集約し、届けてまいります。

また、経営者と言えど、もっと勉強が必要だと思えます。中央会では各種事業を展開していますが、今年度重点事業として取り組んでいる自動車産業EV化対応やDX導入支援のような時流にあった事業や、経営に役立つ各種セミナーの実施等がより一層必要になると思えます。

加えて、岐阜県の女性経営者の割合は、全国最下位となっています。岐阜県を元気にしていくためには、女性経営者の力が必要となると考えます。中央会レディースクラブの活動を通じて、女性が岐阜の中小企業を引っ張っていく存在となるよう、力を合わせて頑張っていきたいです。

※型取引の適正化:金型等の製作から廃棄に至るまで、型代金又は型製作相当費の支払いや不要な型の廃棄の推進、型の保管費用の支払い等を明確化して取引を行うルール



「企業や組合について教えてください」

◆企業について

鳥羽工産株式会社は航空機や車輛の金型・部品製造を行っています。航空機や車輛の部品を金型の設計・製作から、プレス、さらに溶接・組付けまで、一貫対応できる技術と設備を備えています。各務原市に本社工場を構え、可児工業団地内の6事業所の他、愛知県豊田市、青森県に工場を置いています。

今、自動車産業はEV化や自動運転等、目まぐるしく変化していますが、その中で、当社は「手で作ること」による生き残りを目指しています。昨今のデジタル化の加速により、工場内においてもあらゆることが自動化されていますが、最後の仕上げ部分は必ず人の手が必要となります。自動化では対応できない確かな技術を持っていることが今後生き残っていくために必要になると考えています。

◆組合について

岐阜県可児工業団地協同組合の理事長を拝命して9年目となります。当組合では、組合員に安価な料金で電力を供給する共同受電事業をはじめ、組合員にとって快適な工業団地を目指し、共同施設・用地の運営管理を行っています。

可児工業団地は、世界水準の大企業と地元中小企業が一体となっている全国でも珍しい工業団地です。そういった組合環境に身を置く中、中小企業は大企業から見習うべき点が多くあると感じています。例えば、BCP策定や福利厚生の実施等、大企業は当たり前に行っている取り組みについても、中小企業では、まだ実行できていないことが多くあると思います。組合活動にも団地内の大企業が積極的に関わっており、組合のBCP策定にあたっては委員会メンバーとして参画いただき、自社での経験を活かしていただいています。

「趣味や休日の過ごし方を教えてください」

これといった趣味はありませんが、強いて言えばランニングでしょうか。

コロナ禍で最近では行えていませんが、組合事務局職員と一緒にランニングをしたり、フルマラソンにも挑戦したこともあります。現在は、毎日10キロのウォーキングを日課にしています。辻中央会名誉会長が「衰えは足からくる」とおっしゃっていたので、ゴルフの時はカートに乗らない等、意識的に歩くようにしています。

魚が好きで、休日は孫と水族館によく出かけます。自宅ではメダカを飼っており、気が付いたら400匹になっていました。

「会員の皆様に一言お願いします」

コツコツ取り組むことをモットーの一つずつ積み上げていきたいと思っています。職員と一体となり、又、関係機関と連携を図りながら、会員の皆様のお役に立てますよう業務を推進してきますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



会長就任のあいさつ

中央会レディースクラブが通常総会・セミナーを開催

県中小企業団体中央会レディースクラブ（谷田育子会長）は、6月28日にホテルグランヴェール岐山で「第23回通常総会」を開催した。

総会には来賓や会員ら23名が出席し、上程された議案は原案のとおり可決、承認された。また、任期満了に伴う役員改選が行われ、10名の役員を選出し、会長には谷田育子氏が再任された。

総会終了後には、会場及びオンライン配信により、中央会との共催による女性経営者等支援セミナーを開催し、会場及びオンライン参加合わせて40名が出席した。岐阜大学名誉教授の林正子氏が「『女性も男性も共に働き、共に育む社会』の実現に向けて」をテーマに講演。林氏は「女性の活躍は男性の活躍や多様な人材の活躍と連動している。性別にかかわらず、個性と能力を發揮できる社会を実現し、発展させていくことが、一人ひとりの任務である」と解説した。

セミナー終了後には、3年ぶりに懇親会を開催し、会員相互の親睦を深めた。



講演を行う林講師

青年中央会が通常総会を開催

県中小企業青年中央会（古田聡会長）は、6月10日にホテルパークで「第48回通常総会」を開催し、会員ら21名が出席した。

開会にあたり、古田会長は「新型コロナウイルス感染症の影響は引き続きあるものの、青年中央会並びに会員組合青年部の活性化に寄与できる活動を行っていききたい」とあいさつした。

上程された議案は原案のとおり可決、承認された。また、任期満了に伴う役員改選が行われ、会員青年部から16人の役員を選出し、会長には古田聡氏（岐阜県広告美術業(協)）が再任された。

総会終了後には本会の川本専務理事などの来賓を招いて懇親会を開催し、各業界の状況や今後の動向等について意見交換するなど、会員相互の親睦を深めた。



総会の様子

県建設関連業団体部会が定会を開催

岐阜県建設関連業団体部会（荒川晶一部会長）は、6月13日にOKBふれあい会館で「第45回定会」を開催した。

定会には岐阜県議会の猫田孝県議をはじめとする来賓や部会員ら12名が出席。上程された議案は全て原案のとおり可決、承認された。

同部会では、県の県土整備部・都市建築部・商工労働部の3部長に対する要望活動や県議会の各常任委員長を招いての「県官公需フォーラム」などの活動を行っており、今年度も部会員の事業支援のため、官公需の受注機会確保と地元業者への優先発注など、業界ごとの個別問題の解決に向けた懇談会の開催や要望活動等に取り組んでいく。



定会の様子

県中小企業組合士協会が総会を開催

県中小企業組合士協会（高橋淳会長）は、6月23日にホテルパークで「第45回通常総会」を開催した。

総会には会員ら13名が出席し、上程された議案は全て原案のとおり可決、承認された。総会終了後には、(株)商工組合中央金庫岐阜支店 次長の飯島立浩氏より「組合事業の新たな可能性～組合事業の再構築～」をテーマに研修会を開催。また、引き続き開催した懇親会には中小企業組合士ら23名が参加し、日頃の活動などについて情報交換を行った。



総会の様子

中小企業組合士制度の詳細は全国中央会HPをご覧ください。

検定試験は今年も12月に行われる計画となっており、本誌8・9月号で試験の案内を予定しています。

インボイス制度対策セミナーを開催

中央会は、7月7日にホテルグランヴェール岐山及びオンライン配信により事業環境変化対応型支援事業として『インボイス制度に向けて必要な対策』をテーマとしたセミナーを開催した。

適格請求書等保存方式（インボイス制度）は、複数税率に対応した消費税の仕入税額控除の方式として令和5年10月1日より導入される。令和5年10月1日からインボイス発行事業者になる場合は、原則として令和5年3月31日までに登録申請を行う必要がある。

今回のセミナーは、税理士 森靖氏が講師を務め、インボイス制度の概要や対策について解説を行った。セミナーには、会場、オンライン合わせて約60人が参加した。

森氏は「適格請求書が発行できないと、買い手側は仕入税額控除が受けられない。自身の事業内容などに応じて、登録の可否など、インボイス制度にどのように対応するか検討する必要がある」と解説した。



解説を行う森講師

【インボイス制度セミナーのご案内】

中央会では、名古屋国税局・公正取引委員会中部事務所・中部経済産業局から講師を招き、インボイス制度セミナーを開催します。インボイス制度の概要や免税事業者との取引における独占禁止法上の考え方、インボイス制度に関連する支援措置について解説を行います。是非、ご参加ください。

【日 時】 令和4年9月7日(水) 14:00～15:30

【開催方法】 オンライン(Zoom)による配信

【主 催】 岐阜県中小企業団体中央会

【共 催】 名古屋国税局・公正取引委員会中部事務所・中部経済産業局

詳細、申込については本会HPをご覧ください。

インボイス制度の詳細や各種資料、制度に関する説明会の開催案内は、国税庁HP「インボイス制度特設サイト」でご確認ください。

中央会活動

キッズ向け組合まつり まもなく開幕

中央会では、様々な業界の魅力、組合の活動等を広く発信し、業界の認知度・知名度向上を図ることを目的に、キッズ向け組合まつり『親子で「一緒に」、「楽しく」、「学べる」 おしごと体験ワークショップ』を開催する。

4日間開催されるワークショップには、1日2組合、計6組合（延べ8組合）が出展し、業界のプロフェッショナルの皆さんが講師となり、楽しいワークショップを通じて、小学生親子に業界・仕事の魅力を発信する。

7月1日には開催に向けて、会場となるモレラ岐阜にて出展者説明会を開催し、注意事項の確認や会場の下見等を行い、ワークショップ当日のイメージを膨らませた。

開催概要

【日 時】 令和4年7月30日（土）、31日（日）、8月6日（土）、7日（日）の4日間
11時から16時まで（全日）

【場 所】 モレラ岐阜 1F ホワイトプラザ
（本巣市三橋1100）

【参加対象】 小学生親子

【7月30日】

- ・オリジナルTシャツづくり
（岐阜婦人子供服工業組合）
- ・電気工事体験
（岐阜電気工事協同組合）

【7月31日】

- ・即席作曲・編曲体験
（岐阜県舞台設備管理事業協同組合）
- ・オリジナルノート、御朱印帳づくり
（岐阜県製本紙工工業組合）

【8月6日】

- ・オリジナル置物を作って陶器屋さん体験
（多治見陶磁器卸商業協同組合）
- ・石の色入れ
（岐阜県花崗岩販売協同組合）

【8月7日】

- ・電気工事体験
（岐阜電気工事協同組合）
- ・オリジナルノート、御朱印帳づくり
（岐阜県製本紙工工業組合）

小規模事業者連携促進事業を始動

中央会は6月1日より、小規模事業者に組織化や連携を働きかける「小規模事業者連携促進事業」を開始した。

近年、事業協同組合等の新規設立件数は、岐阜県のみならず全国的に減少傾向にある。こうした状況を打開すべく、組織化のメリットの周知や、県内の小規模事業者、行政機関や商工会議所・商工会などの支援機関にアンケートを実施し、連携の可能性を掘り起こす。また、人口が激減する地域において、マルチワーカーを派遣して季節ごとの労働力を確保するという新しい組合制度である特定地域づくり事業協同組合制度の普及・設立促進も図る。

本事業では、本会連携開発課内に、新たに連携推進員として中央会OBと中小企業診断士の2名を設置し、事業を進める。

組合等活動

岐阜おやつ編集室がTHE GIFTS SHOPとコラボイベントを実施

岐阜県菓子工業組合（澤田誠理事長）

岐阜県菓子工業組合が立ち上げた「岐阜おやつ編集室」がJR岐阜駅直結の「アクティブG」2階にある岐阜の県産品の販売や情報を発信する県のアンテナショップである「THE GIFTS SHOP」とで、コラボイベント「岐阜おやつ日和」を開催している。

7月16日には、オープニングイベントとして、みのかも金蝶堂の練り切りワークショップを開催。毎月第3土曜日には、当編集室がセレクトした県内各地の和菓子が数量限定で並ぶ。また、7月1日からは、当編集室がプロデュースしたオリジナルパッケージのおやつ4種類が常時販売されており、今後、季節限定商品も展開する予定。

当編集室の常川智子編集長は、「THE GIFTS SHOPには県内外から多くのお客様が来店される。さまざまな方に岐阜おやつの魅力を知っていただくきっかけとなれば」と思いを語った。



オリジナルパッケージのおやつ

組合等④活動

“新”電気会館を建設

岐阜電気工事協同組合（長屋幸典理事長）

岐阜電気工事協同組合は、新事務所となる「新電気会館」を岐阜市茜部寺屋敷に建設し、5月20日に竣工式を執り行った。

昭和55年に建設された旧電気会館は、老朽化等により耐震面の不安があり、検討を重ね、このたび電気会館を建設移転する運びとなった。

新電気会館は、組合員の研修や教育、組合員従業員の人材育成の拠点として活用される。また、同会館には、当組合と密接な関係にある岐阜県電気工業業工業組合、株式会社岐阜県電気工事協力会、合同会社岐阜電気引込工事センターが入居しており、関係団体の1拠点への集約化による利便性向上を図ることができる。

長屋理事長は、「新電気会館が岐阜の電気工業界の新たなシンボルとなり、新たな拠点として組合員が繁栄できる組織作りを行っていく」と抱負を述べた。



竣工式の様子

応急手当推奨事業所に認定

多治見市管工事協同組合（柘植耕一理事長）

多治見市管工事協同組合は、5月27日付で多治見市消防本部より「応急手当推奨事業所」の認定を受けた。多治見市消防本部では、応急手当の正しい知識と技術を持つ人材を育てる事業所を応急手当推奨事業所として認定している。

当組合では、社会貢献活動の一環として、多治見市と災害時における水道業務の応援に関する協定を締結している。その観点から、今回、有事の際に応急手当ができ、AEDの使用が誰でも対応できることを目指して、5月11日に救命講習を実施し、全組合員である19社から23名の受講があった。

組合事務所には、AEDを設置し、有事の際には持ち出して使用する他、近隣住民も使用できるように、器具は常時開放している。

柘植理事長は、「有事の際には何が起きるか分からない。水道業務の応援以外の分野でも貢献できれば」と語った。



救命講習の様子

高山市と共同で終活ノートを作成

飛騨印刷協同組合（保谷卓也理事長）

飛騨印刷協同組合は、高山市と共同で、人生の最期を迎える前に、これまでの人生、これからの人生への自分の想い等をつづる「わたしの終活ノート」を作成した。

終活ノートには、財産や生命保険・損害保険、医療や介護、葬儀やお墓のことなどが記載できる他、思い出や感謝を伝えたい人へのメッセージをつづる欄もある。高山市高年介護課や各支所で配布している。

作成にあたっては、当組合が広告主を集め、その広告料を作成費用に充てて作成した。作成部数は5,000部。当組合では、高山市が発行する総合的な行政情報を掲載する「くらしの便利帳」についても、同様の仕組みで、組合で広告主を集め、デザインから印刷、製本業務までを担当し、成果物を高山市に寄贈している。

保谷理事長は、「市役所は行政サービスの提供等の役割があると思う。当組合でも役割を担いながら協力していきたい」と語った。



わたしの終活ノート



全国の先進組合事例を収集した「先進組合事例抄録（令和3年度組合資料収集加工事業報告書）」より抜粋して紹介します。先進組合事例抄録は過去のものを含め全国中央会のホームページ上で「組合事例検索システム」で公開していますのでぜひご活用ください。「組合事例検索システム」<http://jirei.chuokai.or.jp/newjirei/>

協同組合岐阜関刃物会館

地域と一体で実現、世界の「関の刃物」ブランド発信施設オープン

主な業種	刃物関連製造業				
住所	岐阜県関市平和通4丁目12番地6				
URL	http://seki-japan.com/				
設立	昭和41年12月	組合員	122人	出資金	17,710千円

■ 背景・目的

共同施設としての旧・刃物会館は、世界に「関の刃物」ブランド製品を情報発信し、購入できる場所として、組合・組合員は勿論、刃物産業のまち“関”の重要な産業観光の拠点施設である。令和3年3月、同会館は老朽化への対応と関市の産業観光プロジェクト事業が進められたタイミングに併せて、関市の交流施設「せきてらす」と併設して新・刃物会館がリニューアル。「関の刃物」ブランドの認識と販売拡大とともに、地域の観光産業施設、刃物ミュージアム回廊への誘客促進にも寄与している。また、圧倒的な展示製品数と、組合員の参画型PRスペースの運用により、刺激ある売場作りと製品開発へのアンテナショップ機能も果たしている。

■ 取り組みの手法と内容

刃物会館のリニューアルは10年以上も前から、組合だけではなく地域の産業・観光団体や行政、更には市民も巻き込み検討を推進。その成果としてはリニューアル基本計画や実施計画として纏められた他、中央会も共同施設としてのコンセプト作りなどの支援と新・刃物会館の店舗内で工場内の職人技術などを映像紹介する動画の制作支援を行った。刃物会館の新たなスタートは、十分な下準備を進めた上で具体化された。

新・刃物会館では、世界レベルの刃物産地やブランドとの競争を意識して、約2,000点の展示アイテム数と約370点の包丁展示など、これまでにない展示方法により多方面からの関心の高まりとともに、組合員が主体的に参画できるPRスペースを設けたところは、組合・組合員にとっても新しい形のメリットが提供されるユニークな施設となった。

なお、新・刃物会館のオープンに向けては、当組合の専務理事が地域の刃物関連産業団体の役職も兼務していたことで、刃物産業全体としての横連携がスムーズに図れたため、効果的な事業推進となった。

今後は、大型バス駐車場の整備とともに、刃物のデザインを意識したモニュメント風の看板や大型看板の設置により存在感を高め、団体客の集客増加を目指し、新・刃物会館を起点とした地域の刃物ミュージアム回廊への散策へと結び付けていくことが課題となっている。

■ 成果とその要因

オープン1年目で、過去の年間集客数の2倍の実績を上げ、基本計画にある「関の刃物」のシンボル施設としての機能を果たすことへ期待は高まっている。今後も新・刃物会館の活用面で、地元自治体、産業界、市民が一体となって関わること、また業界が世界的な競争を意識し運用されることで、更に魅力的な施設へと変容していけると考える。



玄関



包丁・ナイフ展示ブース

① ポイント!

地域一帯での検討推進体制に加え、世界的な競争を意識した圧倒的な展示内容と、組合員事業者の参画型スペースの運用に加え、関市との集客連携によって目標実現を加速させたこと。



県内中小企業主要業種の景気動向

(6月末調査)

中小企業団体情報連絡員70名の情報連絡票から

過去のものを含め、詳細のものは、中央会HP (<http://www.chuokai-gifu.or.jp/chuokai/report/report01.html>) に公開しております。

(1) 6月の特色

- ◆景況感DI値マイナス24 前月比3ポイント悪化
- ◆販売価格DI値プラス33 (5カ月連続改善)、収益状況DI値マイナス36 (2カ月連続悪化)
～価格転嫁が一部進むもスピードが追いつかず、収益が悪化している～
- ◆県民割などの施策効果で人流が増加し商店街・旅館に好影響が見られたものの、止まらない原材料等の価格高騰に加え、電気料金の値上げやサプライチェーンでの部品調達難の影響が多くの業種に広がっている

6月次景況	
項目	DI値
景況	-24 (-3)
売上高	-3 (-7)
販売価格	33 (11)
収益状況	-36 (-3)
資金繰り	-8 (-2)
雇用人員	0 (1)

カッコ内は前月比増減ポイント

製造業		前年同月比						
区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳	肉(国産)	▲	○	△	△	△	△
		菓子	△	△	▲	△	△	▲
	米	菓子	○	△	△	△	△	△
		麺	△	△	▲	▲	△	▲
繊維・同製品	擦	糸	△	△	△	△	△	△
		ニット工業物	▲	△	△	△	△	△
	毛織物	合成繊維織物	○	○	○	△	△	○
		メンズアパレル	△	△	▲	△	△	△
	婦人・子供服	縫製(既製服)	△	▲	▲	△	△	▲
		縫製(既製服)	○	○	○	△	▲	○
木材・木製品	製材	銘木	△	△	△	△	△	△
		家具	○	○	△	△	△	△
	東濃ひのき	機械すき和紙	○	○	△	△	○	△
		特殊紙	○	○	△	△	△	▲
紙紙加工品	紙加工品	△	○	△	△	△	△	
	印刷	印刷	○	○	△	△	△	△
化学ゴム	プラスチック	△	○	▲	△	△	▲	
窯業・土石	陶磁器(工業)	タイル	○	○	△	○	▲	○
		窯業原料	▲	△	▲	△	△	△
	石灰	生コンクリート	▲	▲	▲	△	△	▲
		砂利生産	△	△	△	△	△	△
	砕石生産	砕石生産	▲	△	△	△	△	△
		砕石生産	▲	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	鋳物	刃物等金属製品(輸出)	△	○	△	△	△	▲
		刃物等金属製品(内需)	△	○	▲	△	△	○
	メッキ	メッキ	△	△	△	△	△	△
		メッキ	○	○	▲	△	△	△
一般機械	県金属工業団地	可児工業団地	△	△	▲	△	△	△
		金型	△	△	▲	△	△	△
	輸送用機器	輸送用機器	○	△	▲	△	△	△

非製造業		前年同月比							
区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感	
卸売業	電設資材卸	陶磁器産地卸	▲	○	△	△	△	▲	
		機械・工具販売	△	○	△	△	△	△	
		青果販売	▲	▲	▲	△	△	▲	
	小売業	水産物商業	家電機器販売	△	○	△	△	△	△
			メガネ販売	△	△	△	△	△	△
		中古自動車販売	石油製品販売	▲	○	△	△	△	△
			共同店舗(飛騨)	○	○	▲	▲	△	▲
		生花販売	生花販売	▲	▲	▲	△	△	△
			生花販売	▲	▲	▲	△	△	△
		商店街	岐阜市商店街	△	△	△	△	△	△
大垣市商店街	△		○	▲	△	△	△		
高山市商店街	○		△	○	△	△	○		
サービス業	自動車車体整備	長良川畔旅館	△	△	△	△	△	▲	
		下呂温泉旅館	△	△	△	△	△	△	
	高山旅館	クリーニング	△	△	△	△	△	△	
		広告美術	△	○	▲	△	△	▲	
	旅行業	旅行業	▲	○	▲	△	△	△	
		理容・美容業	△	△	△	△	△	△	
	建設業	土木(岐阜地区)	土木(飛騨地区)	○	○	△	△	△	△
			土木(飛騨地区)	▲	△	△	△	△	△
		建築設計	建築設計	▲	▲	▲	▲	△	▲
			鉄構造物	▲	▲	▲	△	△	▲
電気工事		管設備工事	○	○	▲	△	△	△	
		管設備工事	▲	△	▲	△	△	▲	
建築板金		建築板金	▲	△	▲	△	△	▲	
	室内装飾	▲	△	▲	▲	△	▲		
木造建築	木造建築	▲	△	▲	△	○	△		
	木造建築	▲	△	▲	△	△	△		
運輸業	貨物運送(岐阜地区)	軽運送	▲	△	▲	△	△	▲	
		貨物運送(県内)	○	○	○	△	△	▲	

凡例 ○: [増加]、[上昇]、[好転]
 △: [不変]
 ▲: [減少]、[下降]、[悪化]

「第74回中小企業団体全国大会(長崎県)」のご案内

全国の中小企業団体が一堂に会する「第74回中小企業団体全国大会」が今年は長崎県で開催されます!

全国約3万組合等の総意を内外に広く表明し、国等に対して中小企業の実情と振興施策を訴え、中小企業の持続的な成長と豊かな地域社会の実現を図ることを目的としています。

多くの組合の役員、組合員にご参加いただけますようお願い申し上げます。

【日 時】令和4年11月10日(木)

【場 所】「出島メッセ長崎」(長崎市尾上町4-1)

【大会参加費】1人 6,000円

【申込方法】詳細が決まりましたら、本会HPに掲載します。

【問合せ】岐阜県中央会 組織支援課 TEL058-277-1102



DX相談窓口通信

中央会では、中小企業・小規模事業者の皆様のDX導入の推進を目的に「バックオフィス業務等DX導入支援事業」相談窓口を設置し、専門家による相談窓口対応や組合向けの啓発セミナー及び個別相談会の開催、バックオフィス業務に係るクラウドサービス等の導入支援を行っています。

このコーナーでは、本事業の専門家である4名のDXアドバイザーに、バックオフィス業務等へのDX導入に関する有益な情報についてご執筆いただきます。今回は、石井克成DXアドバイザーに筆を執っていただきました。

【お問合せ窓口】 TEL 058-277-1104 (専用ダイヤル)

担当者が休むと業務が止まりませんか？

DX:デジタルトランスフォーメーションと聞くとどう思われるでしょうか？

難しそう

意味がわからない

うちには関係ない

感じ方は、いろいろかと思えます。

それではこれはどうでしょうか？

ユニクロのレジがセルフレジに変わった。

セブンイレブンの支払い方法が変わった。

マクドナルドがモバイルオーダーできるようになった。

いかがでしょうか？

これも、「DX」です。

これらは大企業の事例です。なので、

うちには関係ない

と、思われるかもしれません。

では、伺います。

経費の管理にパソコンを使われていませんか？

いろいろな集計に「エクセル」は使われていませんか？

これらを始める時に、

デジタル化しよう!

とは、思われなかったはずですよ。

多分。

いちいち、伝票の数字を帳票に転記して、電卓で計算するのは面倒。

ノートに手書きで計算すると間違いが発生する。というような理由で、パソコンを使うようになったはずですよ。

「DX」も同じですよ。

あの業務を楽にするにはどうすれば良いか

担当者が休むと業務が進まない

というようなことはありませんか？

これらの問題を解決するためにどうするか。

それを考えるのが、「DX」の第一歩なのです。

「DX」と聞くと

ややこしいシステムを入れなければいけない

パソコンを使わなければいけない

と、思い込んでいませんか？

日常の業務をより確実に効率化することが「DX」の第一歩なのです。

無駄をなくしたい

効率よく業務を回したい

そういった思いがあるのであれば、一度、ご連絡ください。必ず、お役に立ちます。



株式会社あずきプランニング

代表取締役 石井 克成 氏

<https://azukiplan.co.jp/>



石井 克成 氏



商工中金の 中小企業組合支援

個々の企業では解決できないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、1936年の設立以来、一貫して組合・組合員の価値向上に取り組んでいます。これまでも、これからも、商工中金は、組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資を通じて、組合が手がけるさまざまな共同事業の円滑な発展をサポートしていきます。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

岐阜支店 058(263)9191 〒500-8828 岐阜市若宮町9-16

高山営業所 0577(32)3353 〒506-0025 高山市天満町5-1

個人のお客さま向けの定期預金です。

有利な金利設定
(当金庫内比較)

固定金利の半年複利
(元本保証)

1年、2年、3年から
期間が選べる

定期預金

安心、確実、お得に増やす

マイナーベスト



人を思う。未来を思う。

商工中金

この広報誌は岐阜県からの助成を受けています。